

ちほめんNEWS VOL.68

兵庫県立大学 × ちほめん 共催企画

大学生向け **起業支援企画** を実施

企画の目的

令和2年3月に地方創生に関する連携協定を締結した兵庫県立大学の濱田准教授より、教育現場での起業家教育を推進するための企画の実施について要望があったことがきっかけ。

そこで、学生が将来の選択肢として起業も検討し得るように、起業家等の外部講師を招聘の上、起業支援企画を展開し、**将来の創業者の育成や起業家となる人材の輩出に向けた創業機運の醸成を図る**ことを目的とする。

企画の立案

企画の流れ

1. 中小企業診断士による **起業概論**
2. 起業家による **体験談**
3. 中小企業診断士と起業家の **パネルディスカッション**
4. 学生との **意見交換**

連携協定
締結記念企画

兵庫県立大学との連携協定

令和2年3月16日締結

- I. **地域経済の活性化**に関する事項
- II. 地域社会の発展に寄与できる **人材の育成**に関する事項



講義の概要

- ☑ 日時
令和3年1月18日(月)10:40~12:10
- ☑ 対象者
兵庫県立大学 1回生中心に43名
- ☑ 講義名
キャリアデザイン入門
- ☑ 担当講師
戎 多麻枝
(兵庫県立大学 非常勤講師)
- ☑ 備考
コロナ禍を踏まえ、Zoomを活用し、オンラインでも講義を配信することで、学生が対面、オンラインを選択できることとした(ハイブリット型講義の展開)。

学生が今後のキャリアについて考え、自己をみつめ、実現したい思いを行動に移すことを主眼とした講義

ワーク&ライフキャリアコンサルタントとして、行政・企業等の研修企画・運営、セミナー講師、大学でのキャリアデザイン講師、個別のキャリアカウンセリング業務などに従事

講師の選定

講師選定に当たっては、神戸財務事務所のネットワーク機能を活用し、

- ☑ 中小企業診断士については、兵庫県中小企業団体中央会、神戸市産業振興財団から紹介を受け、**吉川中小企業診断士**を招聘。
- ☑ 起業家については、平成30年に神戸財務事務所が主催した、新事業創業者と金融機関との意見交換イベントに御協力頂いた**(株)Compass 大津代表取締役社長**を招聘。

(株)けいえいまち 代表取締役
中小企業診断士 吉川 祐介



10年間の(株)セブン-イレブン・ジャパン勤務で店長や店舗経営管理に携わり、その後は2019年に(株)けいえいまちを設立。

まちづくり、商業、地域活性に強みをもつ経営コンサルタントとして、観光地インバウンドや商店街などの経済活性だけでなく、都市計画など幅広い分野で活動。

また、神戸市産業振興財団の神戸開業支援コンシェルジュ「コーディネーター」として、神戸市内で起業・開業を目指す方の支援に尽力。

(株)Compass 代表取締役社長 大津 愛

主な事業内容
有料職業紹介/キャリアカウンセリング

平成29年に創業し、国家資格キャリアコンサルタントによるキャリアカウンセリングを基盤とし、採用後を見据えた精度の高いマッチングを実現する職業紹介・人材紹介をオンラインで行っており、求職者・企業の双方にとって価値のある採用活動をサポートするなど、**相談×テクノロジーで地方労働市場の問題の解決を図る。**



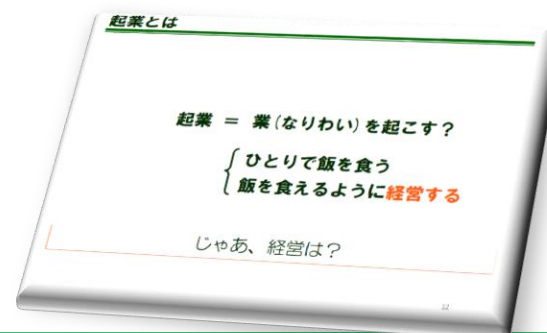
1. 起業概論

(株)けいえいまち 吉川代表から、ご自身の経験談を交えながら、「起業とは何か」ということから「経営とは何か」「起業するにはどうすればよいか」と起業に関する概要をご説明いただきました。

「中小企業診断士」という資格に関してもお話しいただき、これから様々な勉強をしていきたいと思っている学生の皆さんは興味津々という様子でした。



その他、ご自身が大学受験に失敗したお話や勤めていた企業を退職して大学院に進学したというお話には、多くの学生が興味をそそられていました。



2. 起業家の体験談



(株)Compass 大津社長から、同社の事業内容のご説明やこれまでの創業経験、学生時代に起業したという貴重なお話から現在に至るまでのご経歴等、さまざまなお話を頂きました。

同社は、AIを用いて就労に悩むユーザーをつなぐ「就労支援サービス」を

提供しており、今後就職活動を行うこととなるであろう多くの学生は強い関心を示していました。中でも、学生時代に起業したという大津社長の行動力に関するお話や、「対人思考力を学ぶためにも学生時代

には恋愛をすべき」というお話で学生の皆さんを惹きつけていました。



3. パネルディスカッション

起業・経営者として共通点を持つお二方から、「失敗することの大切さ」「企業に求められる人材」「学生のうちしておくべきこと」など、さまざまなテーマでディスカッションいただきました。特に、お二方とも「失敗すること」に対して、「失敗は悪ではなく、失敗があつてこそ前に進むことができる」と同様の考えを学生の皆さんにお伝えされました。他にも、異文化に触れ、自分の価値観を崩すことも重要だということで、学生のうちに海外旅行に行くことも大切だとお話をいただきました。



4. 学生との意見交換

今回の講義は、オンラインと対面のハイブリッド形式で実施されました。そのため、教室に出席している学生からは直接、オンライン出席している学生からはチャットで、その他事前に受け付けていた多数の質問にご回答いただきました。学生からは「起業のデメリットは？」「経営のやりがいは？」など質問が挙がり、起業家側からは「日常が忙しくなるが、デメリットと感じずやりたいことをやることができている」など、現実感のある起業家の生の声を聴かせていただくことができました。



学生からの声

学生からの事後アンケートにおいては、

- ✓ 起業するにはしっかりと目的を定めたり、段階を踏む必要があるのだとわかりました。また、**チャレンジには年齢も経験も関係ないのだと知り、いつまでも向上心を忘れず、目的をもった生き方をしたいと思いました。**
- ✓ 他人との何気ない関わりからやりたいことを見つけられていて、人生いつ転機があるかわからないなと思った。
- ✓ **一から新しく事業を創造することはとても大変なことだけど、それ以上に多くのことを学べるのだなと感じました。**
- ✓ 「失敗してもいいからやりたいことをやる」という言葉が心に残りました。**失敗してでもやりたいことを見つけたいと思いました。**

など、「起業について学べた」「起業に限らずやりたいことを見つけたい」といった声が多数寄せられました。

令和2年7月、神戸商工会議所、兵庫県、神戸市、大学、民間組織等で構成する「ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」が、大阪、京都の各コンソーシアムと連携し、内閣府等が進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」のグローバル拠点都市に選定されるなど、兵庫県では起業の機運が高まる状況にあり、また、「スタートアップ・エコシステム拠点形成7つの戦略」においては、大学を中心としたエコシステム強化を図るため、学内外の人材の活用・連携の強化などが推進されていることから、神戸財務事務所では、今後も起業支援に向けた取り組みを積極的に行っていきます。

神戸財務事務所総務課企画係